



大山砂防等を視察しました



平成29年6月30日(金)

日野川河川事務所

平成30年度の砂防学会全国大会は、鳥取県で開催が予定されており、砂防に関する最新の研究等が発表され、直轄砂防事業を中心とした現地視察も行われる予定です。

今回は、鳥取大学の藤村教授、中村准教授、広島大学の海堀教授に参加いただき、土木系コンサルタント、鳥取県、中国地方整備局からの参加者により、来年度の全国大会現地視察で見所となる現場や大正時代に設置された金門峡堰堤を視察し、大山における大量の土砂流出状況とその対策の重要性を確認しました。

金門峡堰堤を下流側から視察



環状道路(二の沢)豪雨災害時の状況説明



鍵掛峠から大山南壁の崩落状況を視察



三の沢砂防堰堤の概要説明



夢みなとタワーから日本海を望む



皆生温泉いさりび展望台から離岸堤を視察

